

石川県定置漁業協会

○現在実施している又は今後実施予定の取組

本協会は定置漁業の振興を旨として、会員相互の連絡協調を図ることを目的とし、会員 28 経営体、賛助会員 5 企業体で組織している。石川県は定置網での漁獲も多く、鮮度が良く安心・安全な魚の付加価値向上と魅力の発信に努めている。

[現在の取り組みと今後]

- ・石川県漁業協同組合及び石川県農林水産部水産課と共に、定置網漁業における四季の魚 PR 事業の一つとして天然能登寒ぶりの知名度 UP に取り組んでいる。トップブランド「煌」＝きらめきを広告塔とし、能登の寒ぶりの魅力を全国に発信し、認知度の向上に繋げる活動をしている。

又、サワラについても全国でも有数の水揚げを誇るので、天然能登寒ぶりに続き、認知度を高め消費拡大に向けた取り組みを進めている。

- ・他の道府県とも積極的に意見交換を進め、定置漁業の「水産業の成長産業化」についても意見交換を行い、資源管理と付加価値向上の両輪を軸に魅力ある定置漁業になるよう検討している。

- ・クロマグロやマイワシ、サバを始めとする漁獲規制、管理については日々情報を共有し、相互の理解を図りつつ、漁獲管理に努めている。

- ・クロマグロの小型魚は 5 キロ未満を放流しており、石川県独自の規制を設けている。

- ・新規 TAC 対象候補魚種であるブリやマダラについても積極的に関係者間での意見交換を行い、より良い資源利用につながる制度となるよう検討を進めている。



© 2024 石川県漁業協同組合

毎年 12 月 1 日に 「 鰯-1 グランプリ 」 を開催